

ユーブロックス、産業用コネクティビティを強化する新しい GNSS 内蔵型 LTE-M モジュールを発表

SARA-R52 および LEXI-R52 シリーズ、第 2 世代の UBX-R5 チップを搭載、追加コンポーネントを必要とせずに最適なコストとパフォーマンスを実現



2024 年 2 月 6 日、スイス、タルウィル – スイスの u-blox AG (日本法人: ユーブロックスジャパン株式会社、東京港区、代表入山鋭士) は、[SARA-R52](#) および [LEXI-R52](#) の 2 つの新しい LTE-M セルラー・モジュール・シリーズを発表しました。これらのモジュールは、産業用アプリケーション向けに設計されており、u-blox UBX-R52 セルラー・チップを搭載し、測位とワイヤレス通信の統合・同時実行のニーズに対応しています。典型的な IoT のユースケースとしては、メーター検針や公益事業、資産の追跡と監視、医療などの据置型・モバイル型アプリケーションが挙げられます。

u-blox UBX-R52 チップに組み込まれた一連の新機能により、追加コンポーネントなしで製品を設計できるようになります。ユーブロックス独自の新しい測位機能である SpotNow は、数秒以内に 10m の精度の位置データを提供します。これは、リサイクル用廃棄物容器、高齢者見守り端末、清掃機械など、不定期的な追跡アプリケーションを対象としています。uCPU 機能では、外部 MCU を使用せずにチップ内でユーザー独自のソフトウェアを実行することができます。一方、接続の自動管理を目的として設計された uSCM (Smart Connection Manager) では、接続が失われて再接続が必要になった場合などに、最善のパフォーマンスまたは最小限の消費電力を達成することができます。

また、新しい u-blox R52 シリーズには、継続的または周期的な追跡を必要とするアプリケーションに重要な属性である GNSS とセルラー通信の同時接続を提供するよう設計された新たなコンボ・モジュールが導入されています。u-blox SARA-R520M10 コンボ・モジュールは u-blox M10 GNSS レシーバーを内蔵し、低消費電力、優れた TTFF、RF 感度の向上により、確実な同時追跡を可能にします。セルラーと GNSS ソリューションの事前統合というシンプルさを求めるユーザーに最適です。

多くの LTE-M モジュールは 20~21dBm の RF 出力のみを提供しますが、この新しい R52 シリーズは 23dBm を提供することで、厳しいカバレッジ条件でも安定した接続を可能にします。LEXI-R52 は、SARA-R52 と同じ機能を提供しますが、ウェアラブルなどの超小型アプリケーションに最適な小型フォーム・ファクター (16 × 16 × 2mm) です。

サンプルは現在ご提供中、量産開始は 2024 年第 3 四半期を予定しています。

ユーブロックスについて

ユーブロックス(SIX:UBXN)は、あらゆるものの位置を確実に特定する半導体チップ、モジュール、および IoT サービスを提供しています。当社の最先端ソリューションは、未来の自動車とモノのインターネットのためのイノベーションを推進しています。スイスのタルウィル(チューリッヒ)に本社を置き、1,400 名のエキスパートを擁するグローバル企業として、お客様が正確でスマート、かつ持続可能な未来を実現するためのソリューションの構築に努めています。

最新情報は、[X](#)、[Facebook](#)、[YouTube](#)、[LinkedIn](#)、[Instagram](#) および www.u-blox.com をご覧ください。

<お問い合わせ先>

ユーブロックスジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 7-9-1 VPO 赤坂 6 階

カントリーマネジャー

入山 鋭士

電話: 03-5775-3850

e-mail: ejji.iriya@u-blox.com